

大津百町瓦版

新年号 [No. 28]

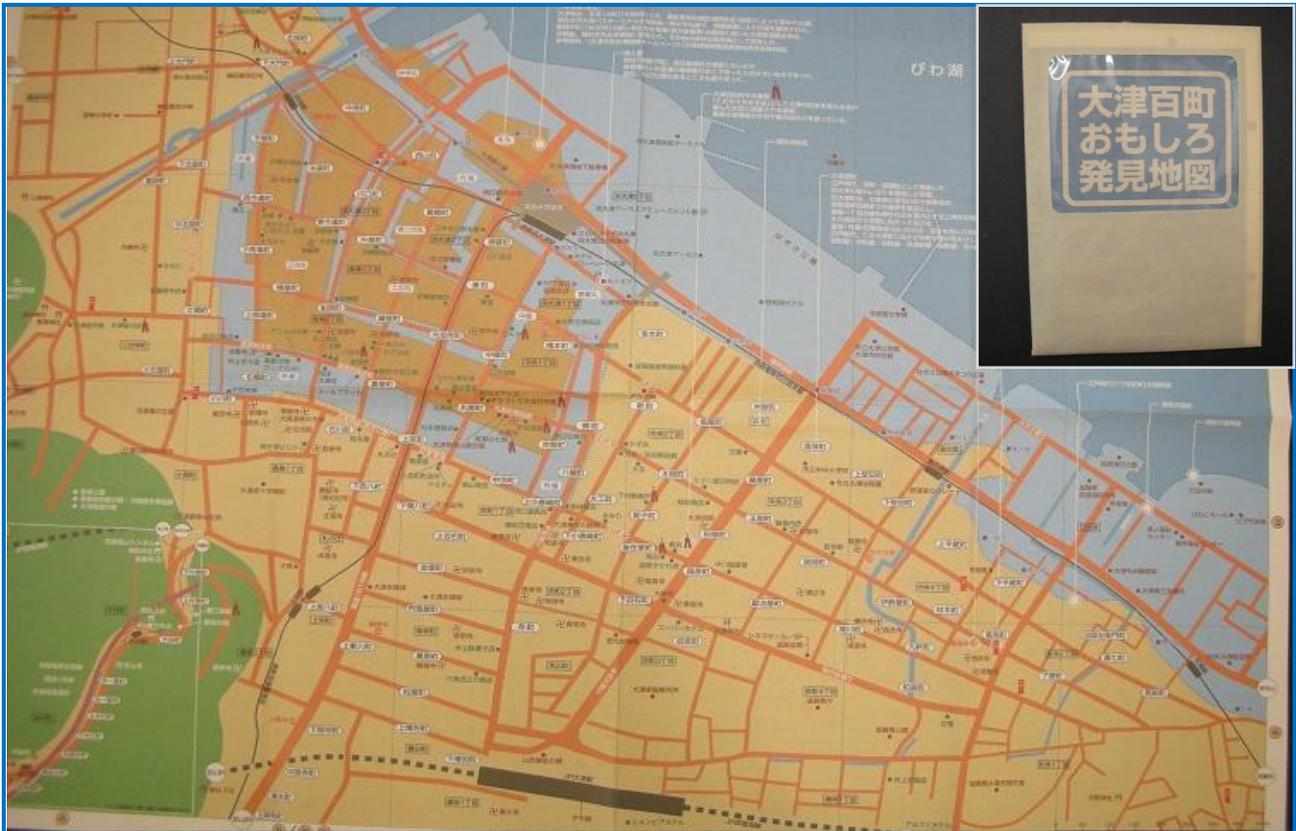
2016年 1月

発行 大津の町家を考える会

大津市中央1丁目8-13

TEL・FAX 077-527-3636

大津・町家・まちなか・いろいろ情報



『大津百町おもしろ発見地図』

この地図、すでにご存知の方も多いと思いますが、「大津の町家を考える会」が平成一六年に作成した地図です。すでに三版を重ねるベストセラーで、何万部とまではいきませんが、観光案内所や大津曳山展示館などにも置かして頂いていますので地元の方はもとより、大津を訪ねて来られる方々にもお求め頂いています。

“まちづくり『大津百町館』にはこの「大津百町おもしろ発見地図」を木造額付きの拡大版を展示しています。『大津百町館』を訪れた方はこの大きな地図を見て「大津にはお城があったのですか?」「百町って?本当に百も町があったのですか?百に近いということではないの?」と言われる方が多いのです。

大津にお城があったの?

県外の方のもとより大津市内の方でも、浜大津に大津城があったことをご存知ない方が多いのが現実のようです。この地図は江戸時代の古文書や歴史資料を基に、大津歴史博物館の協力で作成しました。現在の道路地図と新町名が記されていますが、そこに旧百町の町名を入れていきます。

以前タクシーの運転手さんが、この地図を求めて大津百町館に来られたことがあります。事情をお聞きすると「お客さんで行先を御蔵町とか、堅田町と旧町名で言われる方がおられてちよつと勉強を……」とのこと。また地図には銭湯の場所と名前、昔あった赤い丸型ポストの場所が記されています。裏面には各町内の特徴あるお店や歴史的な出来事も書かれています。旧大津百町の事を少しでも知りたい方は、この『大津百町おもしろ発見地図』をお求めください。

会員「雨森」

この赤い丸型ポスト何処に？

「大津百町おもしろ発見地図」には赤い丸型ポストが何処にあるか？ 銭湯の名前と場所が地図上に記されています。

「赤い丸型ポスト」の正しい正式名は『郵便差出箱1号丸型』と言います。戦後物資の入手が軌道に乗るようになった、昭和24年頃から新しい鉄製ポストとして実用化されたものですが、この地図作成時にはすでに町中からどんどん無くなってきていました。

さて、この「1号丸型ポスト」が地図作成時と同じ様にその場所にあるか確認に歩いてみました。

① 公園の中にある丸型ポストはまるで子ども達の遊具の様な感じで建っていました。



[大津市浜大津・旧川口町]

② この場所はお分かりになる方も多いと思います。朱色の楼門と赤く色付いたもみじ、絵になる風景ですね！長等神社参道にあります。



[大津市三井寺町]

③ ここのポストは分かりにくいところに有ります。花登籠の生家跡の近くの、とある事務所の門前にあります。車の見えている道路は拡張される北国通り。



[大津市長等・旧小川町]

④ ここも写真では何処か分かりにくいところです。電柱に寄り添う様に立っています。湖岸の琵琶湖文化館前から名神高速道路への取り付け道路と中町通



りが交わる道路角に沿ってあります。

[大津市中央4]

⑤ ここは赤い自販機と赤い防火用消火器と並んであり、見失いがちになる場所



[大津市松本]

⑥ 京都から大津へ入る昔からの街道筋の追分、伏見と三条への分かれ道を三条側へ少し下ったところにあります。少し向こうに閑栖寺の太鼓楼が見えています。



[大津市追分・旧髭茶屋町]

『大津百町おもしろ発見地図』作成時(平成16年)には9つの丸型赤ポストの表示がありました。今回確認したところでは写真①～⑥までの6ヶ所でした。

赤い丸型ポストで無くなった所は、一つ目は、伝統芸能会館前。二つ目は、中央4丁目の職安前。三つ目は、石場の京阪踏切近く。等々3ヶ所で小さい鉄製のポストに替えられたり無くなっていました。

♨️ まちの〇〇 ♨️

『銭湯』さて今も有るかな？

おもしろ発見地図には町なかの銭湯についても記されています。①下大門町に「大津湯」があつて ②京阪三井寺駅から浜大津駅方面に「昭和温泉」③彦田神社の前に「湯～トピアきりしま」④上栄町からJR大津駅方面の旧御幸町に「御幸湯」京阪京津線に沿って大谷方面へ登っていく途中「小町湯」⑤島の関駅近く中央4丁目「神楽湯」⑥中町通り高見町に「高見湯」さて、現在も無事残っているか調べてみて下さい。

『萬塾』第四回「和尚さんに聞く仏教入門」

四ヶ寺を巡り新たな発見をしました。

今年度の『萬塾』最終回は、旧大津内に沢山あるお寺のなか宗派の違う四ヶ寺を巡って、その違いを学ぶという企画でした。



浄土宗・傳光院

江戸時代(1760～1770年頃)の『大津町覚』の古文書を見ますと、「大津寺数」として禅宗・式ヶ寺、天台宗・式ヶ寺、西本願寺門徒・拾参ヶ寺、錦織寺門徒・壹ヶ寺、日蓮宗・四ヶ寺、浄土宗・二拾ヶ寺、東本願寺門徒・拾七ヶ寺、仏光寺門徒・三ヶ寺と合わせてなんと六式ヶ寺もありました。現在、旧大津百町内にどれ位のお寺が残っているのか分かりませんが、当時と変わらず多くありそうです。



日蓮宗・本長寺

当日はあいにくの雨模様のお天気でしたが、今回の講座には、京町通りにある仏具店「大弘」のご主人にも参加をお願いして総勢19名で予定したお寺を順番に訪問していきました。



曹洞宗・青龍寺

各寺院では、教典、本堂の内陣・外陣、仏法道具等々、の説明をして頂き、宗派よっての違いが良くわかりました。またどの寺院も500年～600年もの歴史があることや、そして寺宝が多く残されておりそうした価値ある物を見せてもらうなど大変勉強になりました。

参加者の方は「全部のお寺を回ってみたい!」「寺宝を巡るツアーもして欲しい!」との声も寄せられました。



浄土真宗大谷派・徳園寺

参加者の感想 笠会長(本願寺派僧侶)の案内で大津百町内の4ヶ寺を訪問、見学。浄土宗、日蓮宗、曹洞宗、浄土真宗(大谷派)と宗派による雰囲気や教えの違いなども勉強しました。時折激しく降る雨の中でしたが、参加者の興味関心は尽きず、予定を1時間近くオーバーしました。大津では創建300年、400年くらいのお寺は、新参者なの分かりました。

12月6日「天満天神の会」の三人にお話を

天満家真念さん(森川氏)「金明竹」の順で話が進み、50名を越える会場は大いに沸きました。出演のお二人は大阪から来られましたがお二人とも大津に縁があるとかで、「次回も是非呼んで下さい。笑ってもらえて良かったです!」と満足な様子で帰阪されました。



ユアによる寄席とあって、当日は開場前からお客さんが並び、主催者である会メンバーはワクワクそわそわ、開演に先立って、「天満天神の会」代表の挨拶と演者である森川氏が、「大津の町家を考える会」を代表して、これまで『大津百町館』で開催してきた落語会のことなども含め挨拶しました。寄席は天満家賢之輔さん「つる」、天神亭真ん紀さん「ちりとてちん」、



まちなか寄席

「二月六日(日)、復活! まちなか寄席と謳った、「大津の町家を考える会」が主催する寄席が開催されました。会主催の落語会は、まちづくり『大津百町館』が誕生してからほぼ毎年、プロの噺家さんに出演して頂いて行ってきました。近年「百円市」での落語会等市内での寄席開催も増えている中で、アマチ

町家を知ろう、町家を楽しもう

私たちは「町家で親子の交流」というテーマで活動している龍谷大学大津エンパワねっと8期生のチーム「あるぷら」です。さる2015年12月12日(土)10時~14時の間、大津百町館をお借りして、小学1~3年生とその保護者の方を対象に「町家を知ろう!楽しもう!」というイベントを開催しました。



【お釜でごはんが炊けた!】

このイベントは新しく大津に引っ越して来られた町家を知らない若い世代の方たちに町家のことを知ってもらうと共に、地域の方同士との交流を深めてもらえるような機会を作りたいと思い、開催させていただきました。

イベントでは町家探検、町家についての勉強、昔の遊び体験、羽釜で炊いたごはんでおにぎり作り、火鉢でのお餅焼きを行いました。お米炊きでは、まるで絵に描いたような見事な「おこげ」が出来てしまい、「失敗したかな?」と不安な気持ちになりましたが、逆に「おこげ」が参加者には珍しく映り、大変好評で盛り上がり楽しんで頂いたので安心しました。

参加者は、2家族6人、当日参加者2人の計8名と、私たちが想像していたよりも少なく当初の目的の一つである多くの方々に交流して頂くことは出来ま



【おくさんの説明】

せんでしたが、参加して下さった親子に大津の町家の魅力を楽しみながら実感していただけたことは嬉しく思います。今まで頑張って準備してきた本当に良かったと思えました。



【夢中になったカルタ】

最後になりましたが、大津の町家を考える会の雨森さん、野口さん、中央学区自治連合会会長の安孫子さん、大津市中央市民センターの皆さまには私たちの活動のなか

多くなるお力添えを頂き大変お世話になりました。この場をお借り致しましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

龍谷大学地域エンパワねっと8期生「あるぷら」

ひと・まち・憩い『こち夢』



まちづくり「大津百町館」すぐ裏の袋町は、最近本当に町家路地らしい良い雰囲気になってきています。この袋町に二年前から和食のお店として『こち夢』さんがオープンされています。

ここは昭和初期に建てられた瀟洒な二階建ての町家。古き良き町家には、建てられた当時の先人の知恵や長年の月日を経た深い味わいが込められています。ここで食事をしていくとその居心地の良さに時の経つのを忘れてしまいそうです。

お昼は一二時~一五時の間でおまかせミニコース料理(二日前までに要予約)、夜は一八時~二二時まで、一品料理からコース料理まで「旬のお野菜やおさかなを中心にした身体にも心にも優しいお料理とお料理に合うおいしい近江の地酒も用意しています。・」とご主人のお話。また、日本酒党には魅力的な「近江の地酒三種飲み比べ」¥850が嬉しいです。お食事会・同窓会・忘年会や歓送迎会の利用も増えているとのこと。そんな空間に是非行って見て下さい。

『こち夢』(こちむ)大津
市中央一丁目8の27
予約・問合せはTEL077
・535・7121まで。
月曜お休み(不定休有り)



龍谷大学・エンパワ7期チーム「ぬりえ」



大津中央学区で活動している、龍谷大学エンパワ7期生「ぬりえ」のチームがこんなものを作りました。『大津若者図鑑』は大津市中心部で起業したり、先代からのお店を引継ぐ若者を取材したもので、この冊子には12人の若者が掲載されています。上段には紹介する人が「人生に寄り添ってきた言葉」を中心に書き、下段にはお話を聞いて感じた事を7期生「ぬりえ」のメンバーが取材した印象を書いています。ここでは12人の内4人の方をここに掲載しました。

☆濱島純さん・FIKA coffee・大津市札の辻 4-16

“BIG SMILE FOR EVERY ONE”

この言葉はTシャツにプリントされてあったのだそうです。FIKAのみなさんの笑顔やおもてなしで、来てくれたお客さんに喜んでもらいたい、そんな意味だそうです。そのためなら、メニューにないものであっても、作ってくれと頼まれれば出来る限りの努力をするし、来ているお客さんのことを考えて、食事のメニューを工夫したりするそうです。

〈笑う門には福来る〉

「笑う門には福来る」この言葉が本当によく似合う方であると思いました。このお店をオープンすることにあたってのいきさつやお店をするにあたっての濱島さんの思いを話してもらいました。「自分は運がいい。いろんな人に支えられて今がある。」とおっしゃっていて、いろんな縁があって今に至っているのが分かりました。これからもその笑顔(BIG SMILE)で自分に、そしてお客さんにも福を届けてもらいたいと思います。



エンパワ・チーム「ぬりえ」鎌田

☆岡田智恵さん・Sion・大津市長等2丁目 9-1

“チャンスの前髪”

チャンスの前髪とは、「後ろ髪がないからチャンスが向こうからやってきたら掴みなさい」ということ。智恵さんはお店の話が出た時、お金もなく不安もあったが後悔したくないという思いがありこの大きな渦に巻き込まれてみようと思ったそうだ。失うものがあればそれはお金くらいと。今Sionという店があるのはチャンスの前髪を掴んだからである。この言葉を知ったおかげで今があるという智恵さんにとって特別な言葉だ。

〈感覚で生きるヒト〉

智恵さんの第一印象は「優しくて自分の考えをしっかり持っている方」でした。話を伺った時に“こうなってほしい”と願うと事もそのように運ぶと言っており、同じ店で働くなおみさん曰く、智恵さんはいつもポジティブで直感のままに生きていると言っていた。私も話を伺っていてとても明るい方で直感のままに生きているのだと感じたので「感覚で生きるヒト」と名付けさせていただきました。



エンパワ・チーム「ぬりえ」岡村

☆かいほこ なおみ・Sion・大津市長等2丁目9-1

“ありがとう”

ついつい普段感謝することを忘れてしまう。日々の生活は当たり前のように当たり前じゃないことを当時千葉県に住んでいた頃、身をもって東日本大震災の時に経験したからだ。お風呂に入れることもすごいことだし、道端に生えている花に対してや人に対して、また自分に対しても感謝を忘れないよう心掛けて毎日を過ごしている。

〈動くパワーストーン〉

なおみさんの第一印象は「笑顔が素敵でとても話しやすい方」でした。冊子を作るにあたり、掲載させていただけないかのご協力をお願いを急にしに行った時も優しく話を聞いてくれ、私たちの活動を優しく温かい目で見守っていてくれた方だなどと思います。サンキャッチャーの話をしている時の楽しそうな顔やいつも笑顔で接してくれ、周りを和ませてくれるような印象を受けたので「動くパワーストーン」と付けさせていただきました。



エンパワ・チーム「ぬりえ」岡村

☆堀昭一・Ishigama・大津市長2丁目8-32

“迷ったらGO!”

「人生はちょっとした選択の連続である」そう語る堀さんは、大学への進学の際、“やっとけばよかった”はやめようと決意をし、以来人生における様々な選択の場面で迷ったら進んできた。Ishigamaを始めるにあたって、別の仕事をしていた堀さんは、大学の同級生からの一本の電話の誘いに二つ返事で答えたそうだ。まさに、“迷ったらGO!”堀さんの人生は電話一本で変わったのである。

〈情熱×お茶目な兄貴〉

いつも冗談を欠かせないお茶目な堀さん。いつも場の空気を和ませてくれる。しかし、ただお茶目なだけではない。いつも目の前の事に真剣に向き合っている。堀さんは「目の前の事にどれだけ真剣になれるかが成功の秘訣」と語る。堀さんは飲食店、介護と全く違う業種の仕事をしてきたが、どの仕事でも真剣に向き合ってきた。今は大津の町を元気にしたいという熱い情熱をもって、毎日Ishigamaでお客さんを迎えている。



エンパワ・チーム「ぬりえ」堀部

「大津の町家を考える会」にご入会下さい。

「大津の町家を考える会」はいよいよ来年結成20周年を迎えます。会員は毎年更新で去年は52名の方々から会費を頂いています。会費は年¥3,000、会が主催する「寄席」や「萬塾」の参加費もお得な会員価格で参加できます。また、会本来の町家・町並みの活用や保存を提案する活動などに興味ある方の参加をお願いします。

編集後記

この『大津百町瓦版』季刊誌、昨年も無事新年号から始まって春・夏・秋となんとか季刊発行できました。しかし毎号苦勞するのが、記事集め今号は龍谷大学エンパワのチームの報告記事に助けられました。今年は「大津の町家を考える会」の拠点である「まちづくり『大津百町館』」も15周年です。自主事業も活発にしこの『瓦版』もより一層充実させたいです。

[K. A]